



港区立南山幼稚園

MinatoCity, Nanzan Kindergarten

5月園だより

令和5年4月27日

April, 27, 2023

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



心を寄せ 関わること

園長 河合 晴美

緑が広がり、風が心地よい季節となりました。南山の青い空には、今年も5歳児がつくったこいのぼりが元気に泳いでいます。入園、進級して1か月近くが経ち、子どもたちそれぞれが自分なりに新しい環境に馴染んでいこうとする姿が見られます。

3歳児りんご組は、まだまだ緊張感がある中でも担任の話をしっかりと聞き、少しずつ経験を広げています。戸外に出て、滑り台や砂場での遊びを繰り返すと、笑顔が日増しに増えてきました。

しかし、ふとお家のことを思い出すと涙が出てくる姿もあります。先日は、その姿を見ていて心配に思った5歳児さくら組の幼児が、絵本を持ってきて見せてあげる姿がありました。すると、その姿を見ていた4歳児ばら組の幼児も、次々と絵本を選び持ってくるようになりました。泣いている幼児を取り巻いて、たくさんの絵本が並び、周囲に注目していくにつれ、幼児の涙が少しずつなくなりました。泣いている幼児に自らの心を寄せていく姿に、尊い優しさを感じ、こちらの心も温くなりました。

新年度が始まり数週間ですが、新しい環境、新しい関わりの中で今一度立ち止まり、周囲を見て自然な形で互いに心を寄せていく姿が見られます。新入園児が入った4歳児ばら組の幼児たちが大好きなおたまジャクを見せて喜ばせてあげようとする姿、5歳児さくら組の幼児たちが、こいのぼりづくりをしている場面で、貼ろうとしている相手の動きに合わせてそっと押さえてあげる姿など、生活が大きく変わっていく中でも状況をとらえ、目の前の相手に対し、大切に思う気持ちが芽生えています。

毎日、慌ただしく過ぎていきますが、子どもたちが幼稚園という空間の中で過ごす時間は、実りある体験に満ち、成長につながる経験となるようにします。そのために、幼稚園では日々子どもたちの姿をつながりとして考えていきながら、大きな成長を見通し、支えていくことに力を尽くします。



<3歳児 みんなで体操>



<園庭で遊ぶ4歳児>



<5歳児のつくったこいのぼり>